一般質問から

平成20年第2回定例会の一般質問は、6月16日、17日、18日の3日間にわたり、16人の議員が45項目の質問事項について、市の見解を求めました。ここでは、各議員の主な質問と、それに対する市の見解を紹介します。

なお、詳しくは、8月下旬頃、更新予定のホームページをご覧ください。

用語　一般質問
一般質問とは、議員が市の仕事全般について、執行機関から現在の状況やこれからの考えを聞くことです。

保育行政について

瀬戸　知英子

Q　女性の社会参加の意欲が高まり、子どもを産んでも同じ会社で働き続けたいと考えている女性が増えていますが、0歳児保育の受け入れが少なく空き待ちの状況です。民間の保育のネットワーク、0歳児専用のベビーセンターを設置する等、子育て支援について再度検討する必要があると考えますが、市の考えを伺います。

A　国は、働きながら子育てをしたいと願う国民が、就労か出産・子育てかという二者択一を迫られる現状に対応するため、「ワーク・ライフ・バランス」の実現、保育サービスの充実など、子育てを支える社会的基盤の整備を進めています。

本市におきましても多様化する保育需要に応えるため、保育所に加え、家庭的保育事業などの普及促進を図ってまいります。また、現在のところ民間の乳幼児に対するネットワークはありませんが、今後0歳児専用のベビーセンター等も含め、低年齢児の保育に重点を置いて検討してまいりたいと考えています。

母子保健事業について

郡司　伶子

Q　市内で出産できたらとの声を多く聞きます。産科の誘致等、八潮で出産できる体制整備を積極的にすすめること、出産一時金の委任払いの情報を母子健康手帳の交付の時などに知らせるべきと思いますが、見解を。

A　産科の確保は、子育て支援策の中でも重要課題の一つと認識していますが、公的医療機関のない本市としては産科の誘致は非常に難しいため、近隣市区町で市民が利用できる医療機関の情報収集及び提供に努めてまいります。

また、母子健康手帳の交付の時にアンケートを取り入れながら、妊婦の不安や悩みの把握・解消に努めていますが、出産費用等に不安や心配のある方には、保険者に照会する場合もあり、今後も内容に沿った対応をしてまいりたいと考えています。

運動公園のトイレについて

森　伸一

Q　下河原運動広場と大瀬運動公園のトイレが少ないという声が寄せられており、また、下河原運動広場においては、設置場所や簡易トイレの形状から、プライバシーに関する苦情も寄せられているところです。大会開催時等大勢が集まる中で公衆の視線にさらされながら、トイレを使うことに対して特に女性の方の抵抗感は強いようです。そこでトイレの数を増やすことと、プライバシーに配慮した設備を整えることについてのご見解をお聞かせください。

A　トイレの数を増やすことについては、利用状況や地元町会の意見等を勘案し、国土交通省と協議しながら今後検討します。当面スポーツ大会等、一時的に多数の使用が見込まれる時期には、主催者と協議の上、仮設トイレを設置することで対応したいと考えています。また、トイレ利用者のプライバシーの配慮については、防犯上の観点から死角を失くすことを考慮するとともに、公園を利用される方々が安全・安心に使用できるよう、設置場所の変更や目隠しになるような構造物の設置を検討いたします。

橋梁の安全対策について

武之内　清久

Q　埼玉県では、各市町村に対し、橋の点検・調査を呼びかけていますが、県内の約7割の市町村は、点検を実施していないとのことです。定期的な調査・点検はどのように行っているのですか。

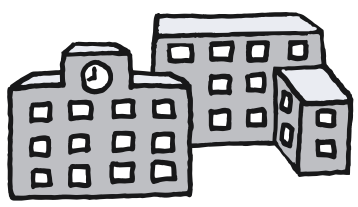
A　昨年8月アメリカミネソタ州ミネアポリスでミシシッピ川にかかる高速道路の橋が崩落した事故を受け、県では、市町村が管理する長さ15m以上の橋について、点検等の状況を調査した結果、市町村管理の橋は、1830橋があり、そのうち過去5年間に点検したのは11市8町で10％にとどまっており、51市町村（73％）は点検していない状況でした。

以上のことから、市では、本年度橋長5m以上で建設後10年以上経過した橋について、点検を行い損傷や劣化を把握します。

今後も橋の寿命を長く延ばせるように、5年ごとに点検していきたいと考えております。

不登校児童・生徒の現状について

大山　安司

Q　不登校児童及び生徒を抱えている家庭と、学校・教育委員会はどのようにコンタクトを取り合っているかお伺いします。

A　学校が窓口となって家庭訪問・電話連絡を行い、必要に応じ学校から教育委員会に連絡があります。さらに、教育委員会に毎月、児童・生徒の様子と学校の対応について報告があり、状況に応じ関係諸機関と連携を図るなど適切な指導ができるよう努めているところです。今後も、八潮の子どもたちの不登校を解消してまいりますので、ご理解を賜りたいと思います。